



亀山市立野登小学校

No.20

令和8年2月4日

学校評価アンケート号



学校教育目標

地域とともに 仲間とともに 生き生きと活動する子の育成

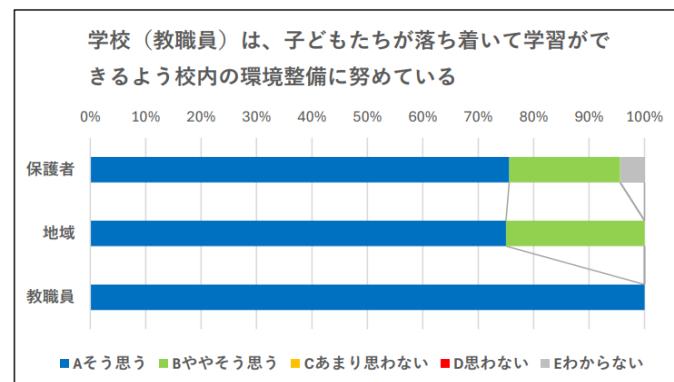
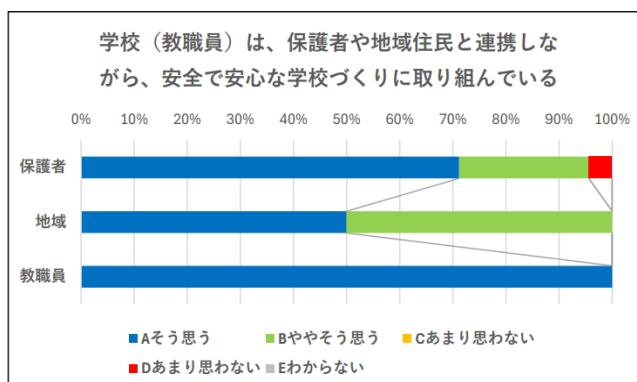
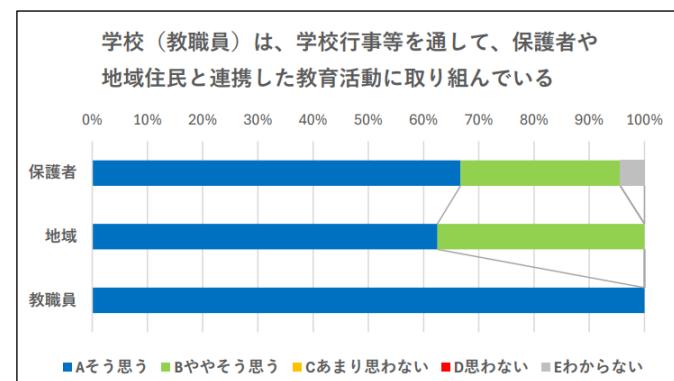
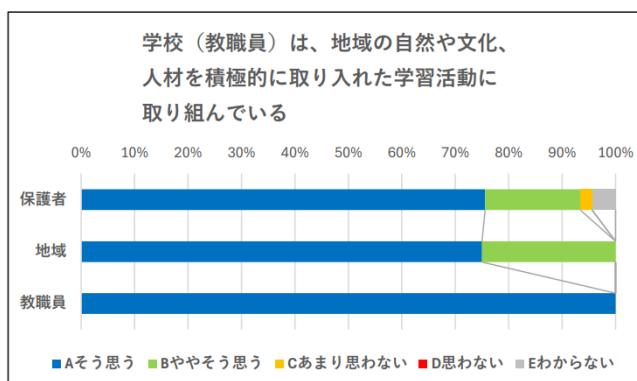
学校評価アンケートの集約と分析 ～ご協力ありがとうございました～

昨年12月に、児童、保護者の方、地域の方、教職員を対象に、今年度の野登小学校の取り組みや児童の状況についての評価を行う「学校評価アンケート」を実施しました。皆様におかれましては、ご多用のところ、アンケート的回答にご協力いただき、ありがとうございました。学校だよりの紙面では限りがあるため、全体のアンケート結果については、学校ホームページに掲載し、学校だよりでは、その一部を紹介します。アンケートでは、それぞれの項目に関して、「■A そう思う」「■B ややそう思う」「■C あまり思わない」「■D 思わない」の4段階評価と「■E わからない」で回答していただきました。質問内容によって、学校教育目標の重点目標に関する結果と児童の状況に関する結果とに分けてまとめました。

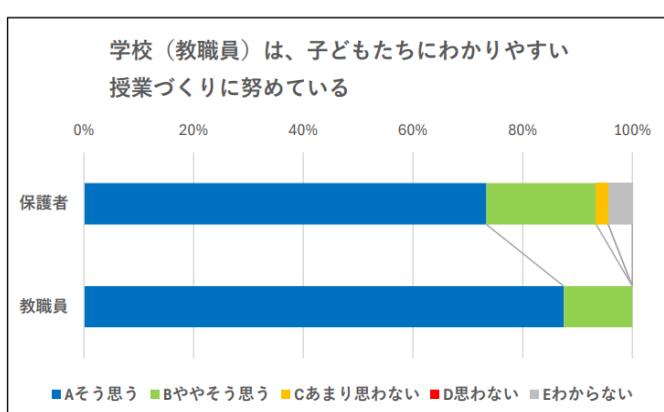
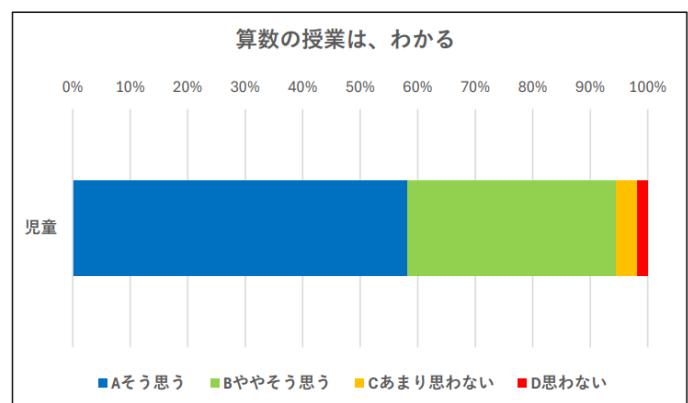
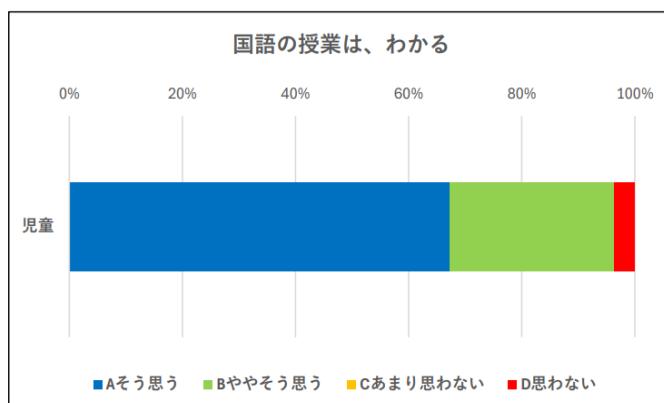
◎学校教育目標の重点目標に関するアンケート結果（一部抜粋）

全体的な評価結果としては、肯定的評価（■A+■B）が高く、（90%以上）、学校の取り組みに対して高い評価をいただいていることが分かります。

重点目標① 地域や家庭と連携し、地域資源を活かした教育活動を充実し、安心安全な学校づくりを進めます。



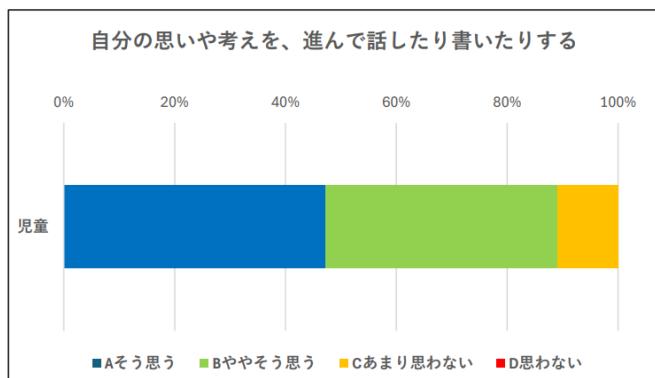
重点目標② 確かな学力の定着を図り、個を大切にした主体的で対話的な授業づくりを進めます。



国語、算数の授業がわかると肯定的に答えた児童の割合が94%を超えており、また、保護者の方からも、「学校は授業づくりに努めている」の肯定的評価が93.3%となっています。一方で、中には否定的に回答している児童もいます。「のびのびタイム」(補充学習)の充実、タブレット端末の活用などを行い、すべての児童が「授業がわかった」と言えるような授業づくりを目指して、引き続き取り組みを進めてまいります。

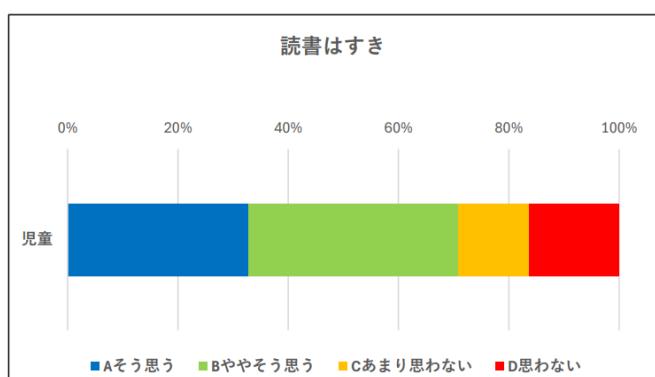
令和4年度から令和7年度までの結果を経年で比較すると、結果が上がった項目（成果）と、下がった項目（課題）があります。以下に一部を掲載します。

結果が上がった項目（成果）



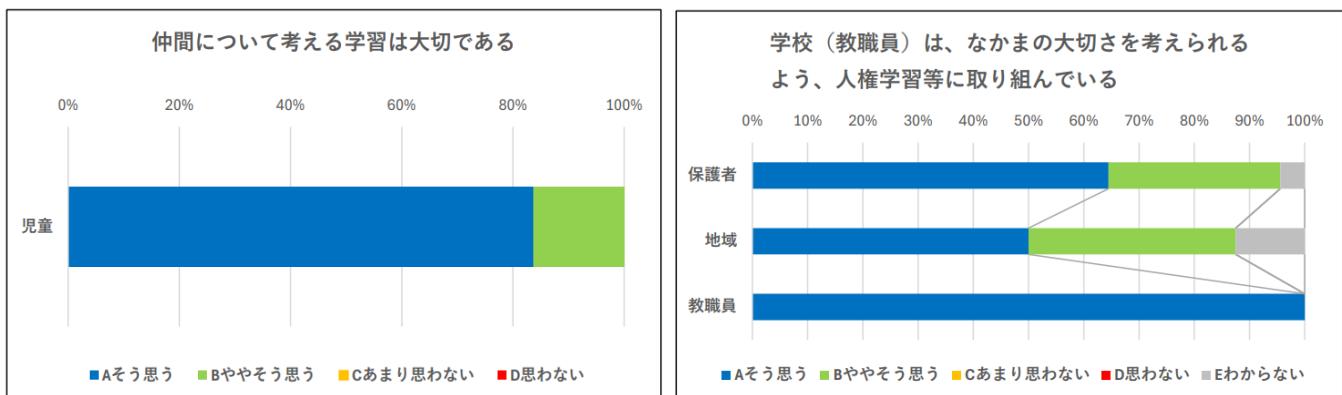
「自分の思いや考えを進んで話したり書いたりする」に肯定的に回答した児童の割合がR5:77.2%→R6:80.0%→R7:89.1%と伸びています。授業だけでなく、集会活動やなかよし班遊びなど、多くの場面で児童の発言を促し、表現力の育成を図ってきました。今後も、取り組みを継続したいと考えています。

結果が下がった項目（課題）



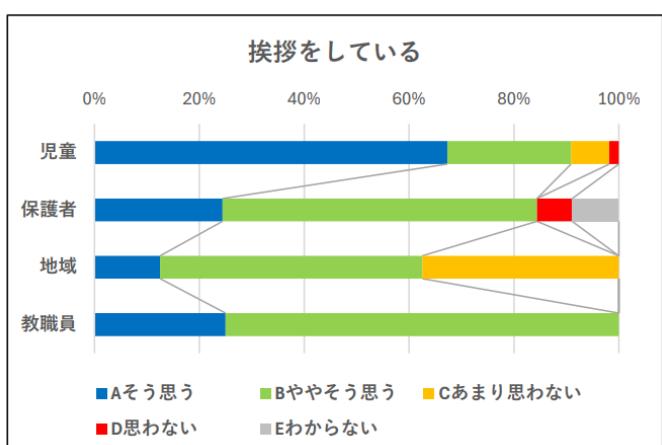
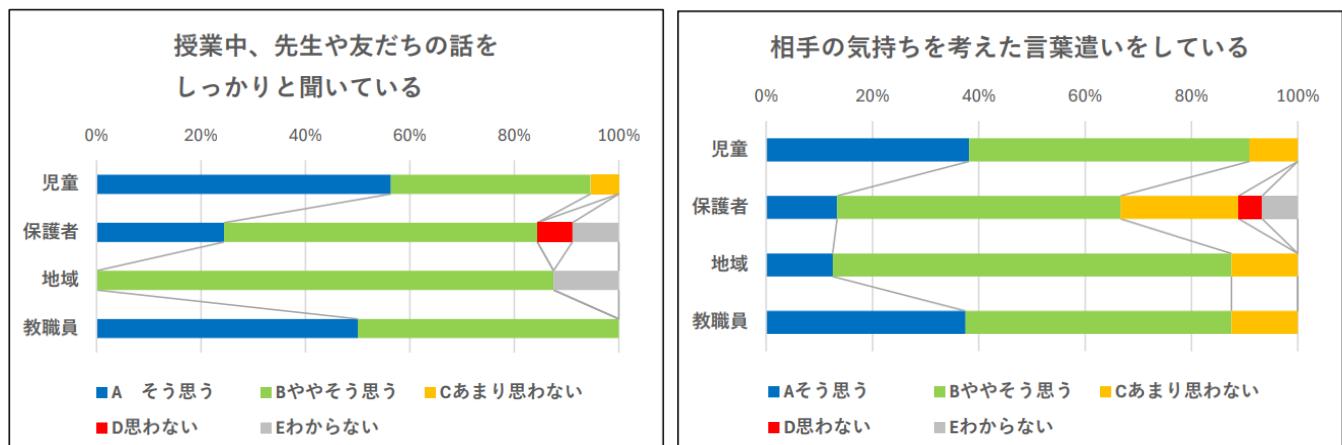
「読書が好き」と肯定的に回答した児童の割合がR5:73.7%→R6:73.8%→R7:70.9%と下がっています。児童の1月末の図書利用は1人あたり121冊と多い現状がある一方で、子どもたちが楽しんで読めるような工夫が必要です。学校図書館アドバイザーや学校司書と連携しながら、本の世界を楽しむ経験を積ませていきたいと考えています。

重点目標③ 互いの人権を尊重し、仲間とともににつながり合い、高めあう教育活動を進めます。



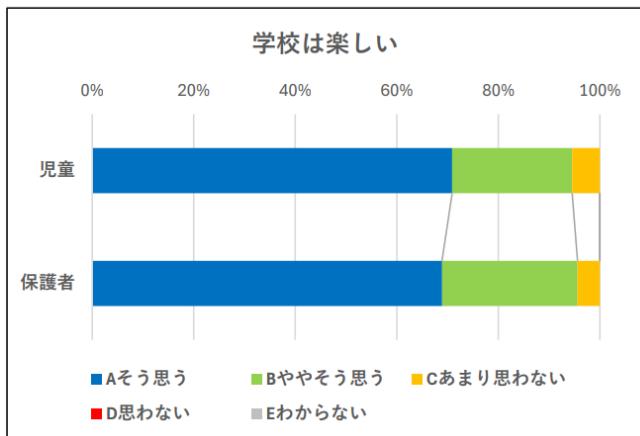
人権集会を、縦割り班での話し合い活動を中心にして1回行いました。3学期にも人権意識を高めるための交流会を開催する予定です。1年生では、人権に関する授業を、参観で保護者の方や地域の方にみていただく機会をもちました。人権週間には、全校で人権標語の作成にも取り組みました。今後も人権について子どもも大人も共に考え、大切にする風土を醸成していきたいと考えています。

◎児童の状況に関するアンケート結果（一部抜粋）

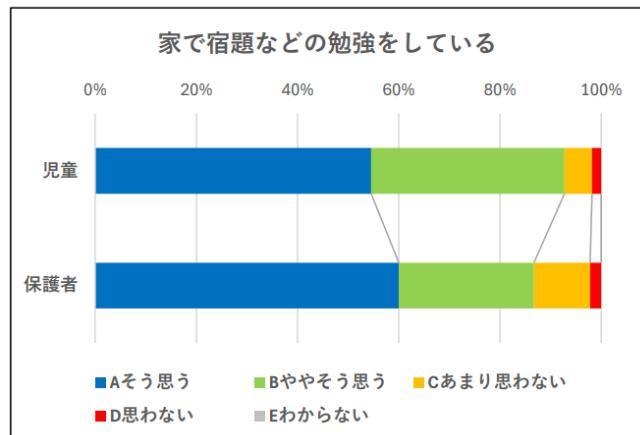


「相手の気持ちを考えた言葉遣いをしている」は、保護者の肯定的意見の割合が低くなっています。また、「挨拶をしている」は地域の肯定的意見の割合が低くなっています。学校、家庭、地域の全ての場面で、子どもたちが行動できるよう、日常的な指導をしていく必要があります。ご家庭や地域におかれましても、子どもに一声かけていただけすると、子どもたちの励みになります。

結果が上がった項目（成果）

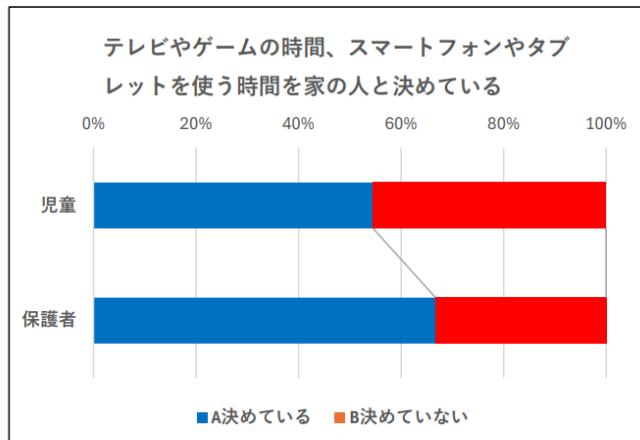


「学校は楽しい」の A 評価「そう思う」に回答した児童の割合が R5:57.9%→R6:67.7%→R7:70.9%と上がっています。また、「思わない」と回答した児童・保護者も 0.0%になり、うれしく思います。児童が「学校が楽しい」と感じるのは「友だちとのつながりを感じる時」、「できたと自分の成長を感じる時」、「自分の居場所があり友だちや先生との信頼関係を感じる時」だと考えます。今後も児童がそのように感じる活動を学校生活の様々な場面で取り入れ、取り組みを進めてまいります。



「家で宿題などの勉強をしている」の A 評価「そう思う」に回答した児童の割合が R5:42.1%→R6:50.8%→R7:54.5%と上がっています。肯定的回答も上がっています。家庭学習の習慣化に、ご家庭で協力していただいているおかげだと考えます。引き続きよろしくお願ひします。

結果が下がった項目（課題）



「テレビやゲームの時間、スマートフォンやタブレットを使う時間を家の人と決めている」と回答した児童の割合が R5:64.9%→R6:58.5%→R7:54.5%と下がっています。一方、保護者の回答は R5:45.9%→R6:46.3%→R7:60.0%と上がり、児童と保護者の認識にずれがあります。最初の約束を児童が忘れてしまっている可能性もあるので、ご家庭での定期的な約束の確認が必要かもしれません。また、学校でも本年度の「お茶の間実践」の取り組みのように、児童の「自己調整力」を育む取り組みを進めてまいります。

◎学校教育に期待すること

保 譲 者	地 域	教 職 員
コミュニケーション力(23.7%)	コミュニケーション力(25.0%)	コミュニケーション力(26.1%)
学習意欲を高める (22.2%)	地域や社会に貢献する態度(16.7%)	学習意欲を高める (21.7%)
規範意識や思いやりの心 (18.5%)	規範意識や思いやりの心 (16.7%)	規範意識や思いやりの心(21.7%)

三者共通して「コミュニケーション力を育む」の項目が高い割合を示しています。また「規範意識や人を思いやる心を育む」も三者共通に高い割合です。学校は集団で生活する場であり、友だちや教員、地域の方々と出会い、関係を築く場もあります。学校生活の様々な場面で、自分の思いを伝え、互いを思いやり、尊重する活動を大切にしています。引き続き、学校教育活動全体を通して、求められている力を育んでまいります。